

(例1) 移乗支援機器を導入する場合

補助対象となる事業：(1) 介護テクノロジー等の導入支援

対象経費



【(A)移乗支援機器導入費】
60万円 × 1台 = 60万円

①対象経費に補助率を $\frac{4}{5}$ 乗じた額

(A) × $\frac{4}{5}$

=60万円 × $\frac{4}{5}$ = 48万円

比較して低い方が補助額 ↓

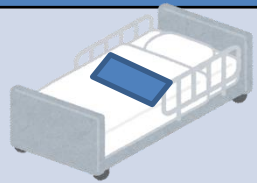
②上限額

移乗支援1台あたり100万円

(例2) 見守り機器を導入し、併せてWi-Fi環境整備とタブレット等を導入する場合

補助対象となる事業：(1) 介護テクノロジー等の導入支援

対象経費 (※1)



【(A)見守り機器導入費】 (主となる機器)
12万円 × 20台 = 240万円



【(B)Wi-Fi環境整備費】 (付帯経費)
4万円



【(C)端末導入費】 (付帯経費)
タブレット 2万円 × 10台
パソコン 11万円 × 1台
=31万円

(※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)だけでなく、付帯経費(B)(C)を合わせて算出

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

【(A)+(B)+(C)】 × $\frac{4}{5}$

=275万円 × $\frac{4}{5}$ = **220万円**

比較して低い方が補助額 ↑

②上限額

見守り機器1台あたり30万円
▼ (×20台)

600万円

※付帯経費とは介護テクノロジー等の導入に付帯して必要となる経費をいう。

- 機器の導入に付帯して必要となる配送料、Wi-Fi環境整備(設置費、設置に必要な工事費(修繕費は除く)、設定費、機器説明費、保守経費等(クラウドサービス、保守・サポート費、セキュリティ対策費))
- 介護テクノロジーの導入に伴って導入するPC、タブレット端末(リース・レンタル費用含む)

令和8年度大阪府介護テクノロジー導入支援事業補助金 申請例

(例3) 見守り機器を導入し、併せてWi-Fi環境整備、その他機器(温冷却配膳車)を導入する場合

補助対象となる事業: (1) 介護テクノロジー等の導入支援

対象経費 (※1)



【(A)見守り機器導入費】 (主となる機器)

12万円×100台=1,200万円



【(B)Wi-Fi環境整備費】 (付帯経費)

500万円

(※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)だけでなく、付帯経費(B)(C)を合わせて算出

対象経費 (※2)



【(C) 温冷配膳車導入費】

50万円×2台=100万円

(※2) その他機器については、機器本体の導入経費のみの補助となり、タブレットや通信環境整備などの導入に伴う付帯経費は補助の対象外となります。

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

$$\begin{aligned} & \text{【(A)+(B)】} \times \frac{4}{5} \\ & = 1700\text{万円} \times \frac{4}{5} = 1,360\text{万円} \end{aligned}$$

比較して低い方が補助額 ↑↓

②上限額

見守り機器1台あたり30万円 (×100台)
3,000万円

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

$$(C) \times \frac{4}{5} = 100\text{万円} \times \frac{4}{5} = 80\text{万円}$$

比較して低い方が補助額 ↓

②上限額

その他機器等1台あたり100万円 (×2台)
200万円

補助額
1,440万円

令和8年度大阪府介護テクノロジー導入支援事業補助金 申請例

(例4) バイタル測定が可能なウェアラブル端末と勤怠管理等のバックオフィスソフト（職員数に応じて必要なライセンス数変動しない）を導入する場合

補助対象となる事業：（1）介護テクノロジー等の導入支援

対象経費（※1）



【(A)バイタル測定が可能なウェアラブル端末導入費】
5万円×2台=100万円

対象経費（※1）



【(B)バックオフィスソフト導入費】 80万円

(※1) その他機器については、機器本体の導入経費のみの補助となり、タブレットや通信環境整備などの導入に伴う付帯経費は補助の対象外となります。



①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

$$(A) \times \frac{4}{5} = 100\text{万円} \times \frac{4}{5} = 80\text{万円}$$

比較して低い方が補助額 ↓

②上限額

その他機器等1台あたり100万円（×2台）
200万円

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

$$(B) \times \frac{4}{5} = 80\text{万円} \times \frac{4}{5} = 64\text{万円}$$

比較して低い方が補助額 ↓

②上限額

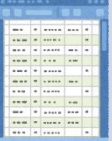


250万

補助額
144万
円

(例5) 介護ソフトを導入し、併せてWi-Fi環境整備とタブレット等を導入する場合（職員数に応じて必要なライセンス数変動し、対象の職員数が21名以上30名以下の場合）

補助対象となる事業：(1) 介護テクノロジー等の導入支援

対象経費 (※1) (※2)

	【(A)介護ソフト導入費】 (主となる機器) 250万円
	【(B)Wi-Fi環境整備費】 (付帯経費) 4万円
	【(C)端末導入費】 (付帯経費) タブレット 2万円 × 10台 パソコン 12万円 × 1台 =32万円

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

【(A)+(B)+(C)】 × $\frac{4}{5}$

=286万円 × $\frac{4}{5}$ = **228万円**

比較して低い方が補助額 ↑↓

②上限額

215万円

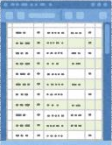
200万円 (21名以上30名以下の上限額)
+
介護ソフトの付帯経費 15万円

- (※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)だけでなく、付帯経費(B)(C)を合わせて算出
- (※2) 介護ソフトの導入に伴ってタブレットや通信環境整備を導入する場合は介護ソフトの基準額に15万円上乗せ

(例6) 介護ソフト（職員数に応じて必要なライセンス数変動しない）のみを導入する（Wi-Fi環境整備やタブレット等を導入しない）場合

補助対象となる事業：（1）介護テクノロジー等の導入支援

対象経費（※1）（※2）



【(A)介護ソフト導入費】
250万円

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

【(A)】 $\times \frac{4}{5}$

=250万円 $\times \frac{4}{5}$ =200万円

比較して低い方が補助額 ↑↓

②上限額

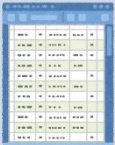

250万円

令和8年度大阪府介護テクノロジー導入支援事業補助金 申請例

(例7) 介護ソフトを導入し、併せてWi-Fi環境整備、勤怠管理等のバックオフィスソフトを導入する場合（それぞれ職員数に応じて必要なライセンス数が増減し、対象の職員数が21名以上30名以下の場合）


補助対象となる事業：(1) 介護テクノロジー等の導入支援

対象経費 (※1)

	【(A)介護ソフト導入費】 (主となる機器) 200万円
	【(B)Wi-Fi環境整備費】 (定着促進支援) 85万円

(※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)だけでなく、付帯経費(B)を合わせて算出

対象経費 (※2)

	【(C)バックオフィスソフト導入費】 80万円
---	-------------------------

(※2) その他機器については、機器本体の導入経費のみの補助となり、タブレットや通信環境整備などの導入に伴う付帯経費は補助の対象外となります。

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額 【(A)+(B)】 $\times \frac{4}{5}$ = 285万円 $\times \frac{4}{5}$ = 228万円
比較して低い方が補助額 ↓
②上限額 215万円 200万円 (21名以上30名以下の上限額) + 介護ソフトの定着促進支援 15万円
比較して低い方が補助額 ↓
①対象経費に補助率 $\frac{3}{4}$ を乗じた額 (C) $\times \frac{4}{5}$ = 80万円 $\times \frac{4}{5}$ = 64万円
比較して低い方が補助額 ↓
②上限額 200万円 (21名以上30名以下の上限額)

補助額
279万円

(例8) 見守り機器と介護ソフトを導入し連動させ、併せてWi-Fi環境整備とタブレット等を導入する場合

補助対象となる事業：(2) 介護テクノロジーのパッケージ型導入支援

対象経費 (※1)



【(A)見守り機器導入費】 (主となる機器)
12万円 × 50台 = 600万円

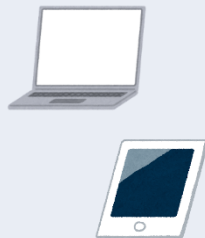


【(B)介護ソフト導入費】 (主となる機器)
300万円

連動



【(C)Wi-Fi環境整備費】 (付帯経費)
500万円



【(D)端末導入費】 (付帯経費)
タブレット 2万円 × 20台
パソコン 12万円 × 5台
=100万円

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

【(A)+(B)+(C)+(D)】 × $\frac{4}{5}$

=1500万円 × $\frac{4}{5}$ = 1,200万円

比較して低い方が補助額 ↓

②上限額

パッケージ型導入支援の
上限額1,000万円

(※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)(B)だけでなく、付帯経費(C)(D)を合わせて算出

(例9) インカムと介護ソフトを導入し連動させ、併せてWi-Fi通信環境整備とタブレット等を導入する場合

補助対象となる事業：(2) 介護テクノロジーのパッケージ型導入支援

対象経費 (※1)	
	【(A)インカム導入費】 (主となる機器) 2万円×30台=60万円
	【(B)介護ソフト導入費】 (主となる機器) 300万円
	【(C)Wi-Fi環境整備費】 (付帯経費) 500万円
	【(D)端末導入費】 (付帯経費) タブレット 2万円 × 20台 パソコン 12万円 × 5台 =100万円

連動

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

【(A)+(B)+(C)+(D)】 × $\frac{4}{5}$

=960万円 × $\frac{4}{5}$ = 768万円

比較して低い方が補助額

②上限額

パッケージ型導入支援の
上限額1,000万円

(※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)(B)だけでなく、付帯経費(C)(D)を合わせて算出




令和8年度大阪府介護テクノロジー導入支援事業補助金 申請例

(例10) 見守り機器と介護ソフトを導入し連動させ、併せてWi-Fi通信環境整備とタブレット等とインカムを導入する場合

補助対象となる事業： (1) 介護テクノロジー等の導入支援

(2) 介護テクノロジーのパッケージ型導入支援


対象経費 (※1)

	【(A)見守り機器導入費】 (主となる機器) 12万円 × 50台 = 600万円
	【(B)介護ソフト導入費】 (主となる機器) 300万円
	【(C)Wi-Fi環境整備費】 (付帯経費) 500万円
	【(D)端末導入費】 (付帯経費) タブレット 2万円 × 20台 パソコン 12万円 × 5台 =100万円

連動

(※1) 対象経費は、主となる機器の導入費(A)(B)だけでなく、付帯経費(C)(D)を合わせて算出

対象経費 (※2)

	【(E) インカム導入費】 2万円 × 30台 = 60万円
---	-----------------------------------

(※2) 「介護業務支援」に分類されているテクノロジー又は「介護業務支援」に分類されているテクノロジーと同水準の機器等と連動しない機器は、パッケージ型導入支援の経費計上には含めません。

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

【(A)+(B)+(C)+(D)】 × $\frac{4}{5}$

=1500万円 × $\frac{4}{5}$ = 1,200万円

比較して低い方が補助額 ↑↓

②上限額

パッケージ型導入支援の
上限額1,000万円

補助額
1,048万円

①対象経費に補助率 $\frac{4}{5}$ を乗じた額

(E) × $\frac{4}{5}$ = 60万円 × $\frac{4}{5}$ = 48万円

比較して低い方が補助額 ↑↓

②上限額

移乗支援 1台あたり100万円